



担い手通信



JA bank Mie

農業経営者サポート事業の仕組み

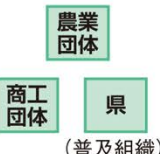


法人化したい
規模拡大したい
農産加工したい

相談

相談内容に応じ、適
当な専門家を派遣

地域の協議会



支援チーム

- | | | | |
|-----------|------------|-------|-------|
| 普及員、営農指導員 | 6次産業化プランナー | 6次産業化 | 技術指導 |
| 農業会議 | 経営コンサルタント | 経営継承 | 法人化 |
| J Aバンク、公庫 | 中小企業診断士 | 資金調達 | 経営診断 |
| 税理士・公認会計士 | 社会保険労務士 | 労務・人材 | 労務・法務 |

農水省が「農業経営者サ
ポート事業」として、2018
年度予算案に盛り込みまし
た。農業経営の法人化など
を支援する総合事業に17

年度比36%増の9億
1000万円を充て、その
内数で対応します。
多様な経営課題に対応で
きるよう、幅広い分野の専門

家を派遣でき
る体制を各
県で整えま
す。J A中央
会や農業会
議、農地中間
管理機構(農
地集積バン
ク)、県の普及
組織といった

農業関連組織に加え、商工
会議所など商工団体も加
わって協議会を立ち上げ、経
営の相談窓口を設置。相談
窓口をどの組織に設置する
かは各協議会に委ねられま
すが、J A中央会や農業会
議、農地集積バンクなどが想
定されます。

協議会の各構成組織に関
係する専門家で、支援チーム
も組織します。営農技術を
指導する県の普及員やJ A
営農指導員、経営分析を担
うコンサルタント、資金調達
の相談に乗るJ Aバンクや
公庫担当者、雇用者の労務
管理などを指導する社会保
険労務士といった人材の中
から、相談を寄せた農家の
課題解決に必要な専門家を
選抜し、派遣します。
例えば農家が、イチゴの施

Topic 今月の話題

専門家チームを派遣

経営多角化の支援強化

農水省

農

水省は、法人化や規模拡大、6次産業化といった新
たな経営展開を目指す農家への支援体制を強化し
ます。各県域で農業・商工団体と行政一体で経営相談の窓
口を設置。そこでの相談内容を踏まえ、専門家で支援
チームをつくり、農家に派遣します。1カ所の相談窓口
で、幅広い経営課題に対応できる体制を整え、効果的、
効率的な支援につなげます。

設栽培を計画した場合、施
設建設に必要な土地や資金
の確保や補助事業の活用、
栽培技術の習得、経営計画
の策定など、実現には多様
な対応が必要となります。
こうした各課題の解決を専
門家チームが継続的に支援
することで、農家の負担を解
消します。

数字でみえる 三重県の農と食

900日以上

県内の農と食に関する統計デー
タを用い、農業の現状を数字から読
み解きます。

特産松阪牛の肥育日数

農水省の地理的表示(GI)保護制度に2017年3月に登
録された「特産松阪牛」は、兵庫県産の子牛を三重県の
松阪地域で900日以上長期肥育した未経産の黒毛和
牛の事で、通常の松阪牛と比べ長く肥育する必要があります。
松阪牛協議会によると、松阪牛全体の約4%(15
年度実績)と非常に少ない割合となっています。



このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介します。

JA鈴鹿

自ら経営 地域守る 18年度から米栽培も

JA鈴鹿は農業経営事業として、自ら農業生産を行っている。2016年度は5品目、17年度は11品目に増やして栽培。総作付面積は約3.2㌔になった。18年度からは、米の栽培にも着手する予定だ。農業経営事業は、農家の高齢化や離農に伴う担い手の減少、耕作放棄地の拡大を受けて始めた。地域農業の維持、発展を目指す。野菜の栽培は主に営農指導員が担当。現在は、11月中旬から栽培している白ネギの出荷・調製作業に追われている。

(2018/1/18 ワイド2東海)

JA津安芸

GAP普及目指す 営農職員の人材育成

JA津安芸は1月15日、営農センター職員を対象に農業生産工程管理(GAP)内部研修会を、津市のJA本店で開いた。26人が参加した。部会や生産者へ説明、指導できる人材を育成し、GAPの普及・拡大を目指す。JAは、安定した農業経営を続けるために信頼性の確保、環境への配慮、事故防止などへの対策としてGAPへの取り組みが必要と位置付けた。東京五輪・パラリンピックを機に、国内流通でも大手流通チェーンがGAPの取り組みを求める動きが出ている。

(2018/1/19 ワイド2東海)

JA三重中央

組合員の意見を共有 地区別座談会

JA三重中央は「地区別座談会」で、前田孝幸組合長やJAの「自己改革プロジェクトメンバー」らが組合員と意見を交わした。16支店15会場で行い、認定農家や生産部会役員、女性組織役員を中心とした約230人が集まった。組合員の意見を全役職員が共有し、事業計画に反映させる。座談会は、2016年度に続き2回目の開催。大きく取り上げたテーマは、JAが取り組む①農業支援体制②若い世代を中心とした新しい組織づくり——など。

(2018/1/13 ワイド1東海)

「クラウドまるみえホカクン」
配備で被害軽減を実証

野

生鳥獣の被害対策に、情報通信技術(ICT)を活用した檻や罠の遠隔監視・操作システムの「クラウドまるみえホカクン(1月号を参照)」を集中的に地域に配備し、捕獲した現地実証で、被害対策と併用することとで、被害の軽減が確認された。

同機器を18基設置した伊賀市の実証地域では、1年でシカ200頭、サル430頭を捕獲しました。シカは防護柵の併用で大幅な被害の軽減(図1が

できます。サルは群れ単位の個体の管理が可能になることから、追い払いなどの被害対策の併用で被害発生集落を減らす

図2 サルによる集落被害の変化

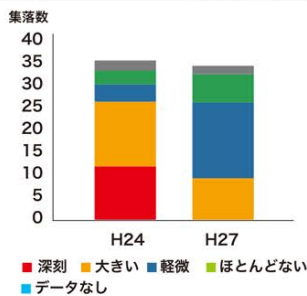
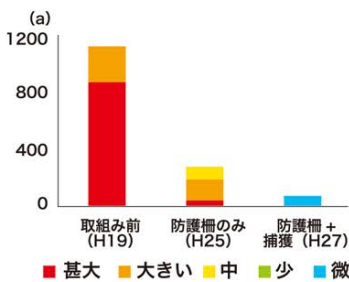


図1 シカによる被害面積の変化



お問い合わせ先 三重県農業研究所 地域連携研究課 ☎0598-42-6356
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 ☎0795-80-5500

短期の運転資金が
必要になった方に

今ならJAバンク利子補給制度により
最大年1%の利子補給が受けられます。

スーパーS資金

農業経営改善促進資金

認定農業者向けの
低利・便利な短期運転資金です

- 家畜等の購入資金
- 種苗代・肥料代・雇用労賃などに
- 農舎・畜舎の補修農業機械の修繕費



詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>



平成30年1月現在

【金利情報】平成30年1月25日現在

農業経営資金

変動金利
年1.00%

固定金利
年1.50~2.00%

※上記の借入利率は、代表的な利率であり、JAによって異なる場合があります。適用利率等の詳細はお近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。

スーパーS資金

年1.5%
(変動金利)